

## 令和6年度 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会の活動方針（案）について

令和6年度は、明知鉄道沿線地域公共交通計画に基づく取組みが6年目となります。本計画の目標達成に向けた事業は、令和5年度の実績の評価から得た課題と対応を踏まえて、引き続き明知鉄道を基軸とした公共交通ネットワークを構築していきます。

## 1. 取組み方針

令和5年4月から恵那市内の大幅な路線再編を行ったことから、バス乗り方教室やイベントなどを通じてモビリティマネジメント事業の取組みを積極的に行う。また、1年経過後に効果などから令和6年度中に目標数値の見直しを行う。

また、移動可視化データを活用して、鉄道・バス・タクシーなど複数の交通モードによって公共交通網を一体的に構築し、実情に合った持続可能な公共交通ネットワークを目指します。

## 2. 重点的に取り組む事業

目標1：公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進

- ・公共交通シンポジウムの開催
- ・乗り方教室（地域・学校・イベント）の開催
- ・公共交通を活用したスタンプラリーの開催
- ・高校生とコラボした公共交通利用促進PR活動

目標2：持続可能な地域公共交通ネットワークの形成

- ・移動可視化データによる、一体的な交通ネットワークの再編（バス・鉄道・シェアサイクル）
- ・上矢作線、明智地域路線の再編
- ・高校生の通学支援
- ・シェアサイクルのステーション検討（利用可視化データを基にステーションの移設や増設等）
- ・共通乗車券の検討（JR、明知鉄道、バス、タクシー）

目標3：域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備

- ・恵那市交通コンシェルジュの機能強化と拡充  
高齢者等「お手軽デマンドバス予約機能」の追加  
スタンプラリー機能追加  
公共交通を利用した旅コースの増設
- ・各施設と連携した利用促進（周知、スタンプラリー、お得利用策）

### 3. 目標達成のための事業内容 取り組み事業の一覧

目標	施策	事業
【目標1】 公共交通を「支える」 「活用する」地域住民の活動促進	1. 公共交通を「活用」する市民の意識づくり	1. 観光列車やイベントでの市民による活動 2. 地域イベントと連携した公共交通の活用 3. SLの復元を通じた地域づくり 4. 待合時間を有効活用できる結節点
	2. 公共交通を「支える」市民の活動促進	1. 明知鉄道が有するさまざまな価値の発信 2. 沿線環境の整備 3. 収入源の拡大 4. モビリティマネジメントの推進 ・公共交通シンポジウムの開催 ・乗り方教室の開催 ・公共交通を活用したスタンプラリーの開催 ・高校生とコラボした公共交通利用促進のPR活動
【目標2】 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	1. 地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成	1. 恵那駅周辺での循環線の新設 ・シェアサイクルステーション検討 2. バス路線の見直し ・移動可視化データを活用した一体的な交通ネットワークの再編 ・高校生の通学支援 3. 明知鉄道の1時間1本化
	2. 快適な公共交通利用環境の整備	1. 施設の更新 2. P&R、サイクルトレインの推進 3. 鉄道・バス共通1日乗車券の販売 ・事業者間調整、販売
	3. 関係者との連携強化	1. 恵那峡線・大井町東線・大井町西線・明智線の改善と利用促進 2. 隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実
【目標3】 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1. 当地域に適したMaasの実現	1. 運賃のキャッシュレス化 2. 人とアプリによる「交通コンシェルジュ」 ・交通コンシェルジュの機能強化と拡充 ・お手軽デマンドバス予約機能の追加、スタンプラリー機能追加 3. 日帰り旅コースの設置・運用 ・公共交通を利用した旅コースの増設 4. 定額制乗り放題運賃・年間パスポート 5. モードを跨いだ運賃設定 ・事業者の意向確認 ・運賃部会での検討 6. 移動データの取得
	2. バリアフリー化を通じたサービスアップ（現状維持から発展へ）	1. 駅舎などのバリアフリー化 2. ボランティア車掌の創設 3. 外国語案内・バス系統番号の表示
	3. 観光列車の推進	1. 観光列車と広報・周知の充実 2. 観光列車やイベントでの市民による活動